

# 評価細目の第三者評価結果

## （障害者福祉サービス分野①）

### 評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果	コメント
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	運営法人の「経営理念」、「経営基本方針」は、ホームページ・事業計画への掲載、事業所内への掲示など広く発信されている。時代に即し、多くの方々の心に残る表現となるよう改訂がなされている。

#### I-2 経営状況の把握

	第三者評価結果	コメント
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	法人内の各施設長が集まる施設長会議および児童発達支援分野の施設長会議が行われており、意見交換・情報収集の機会としている。行政、市内総合療育センターからも必要な情報を提供してもらい、運営に役立てるよう努めている。
I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	三事業を併設する中で、それぞれの運営上の課題に取り組んでいる。事業計画においてもそれらに触れ、具体的施策をもって改善と進捗を図っている。

#### I-3 事業計画の策定

	第三者評価結果	コメント
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	法人として平成28年度から平成37年度に至る中長期計画として「経営基本計画」を策定している。昨年度より施設取り組み計画と題された施設ごとの中期計画も策定されるなど年度ごとの評価を反映・活用する仕組みが構築されている。
I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	重点項目が記された年度の事業計画が策定されている。利用者の意見の反映、地域との連携、専門性の向上等法人が掲げる方針の反映がなされており、具体的支援に対する目標設定がなされている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	事業計画は策定後、年度初めに職員への周知の機会を作っている。施設を取り巻く環境への理解、継続することの大切さ、改善への前向きな姿勢などを理解してもらえるよう取り組んでいる。
I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	b	事業計画は誰もがみられるよう法人ホームページへの掲載がなされている。重要事項説明書の配布、入園時の説明を通して事業所の方針を伝えている。伝える姿勢の重要性を認識しており、今後も便り等にて発信していく意向を持っている。

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果	コメント

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	施設サービス自己評価による職員自己評価、利用者アンケートを実施している。結果の検証と反映を今後の課題として捉えている。
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	虐待防止について定期的なチェックがなされており、園内の委員会を中心に検証が行われている。法人内の他サービスからの異動者の意見は貴重な改善への足掛かりとなっており、成人施設での取り組みを参考に具体的支援内容の向上に努めている。

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	事業所としては毎年度、役割分担表と行事分担表を作成し、職務と責任を明示している。また、法人の療育部門としては、リーダーの設定や専門性の確立を目指しており、法人の療育としての特長の発信、記録様式等の統一などに効果を表すことを目指している。
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	a	法改正等の情報は、法人より提供があり、随時説明会等の開催により周知を図っている。利用者の権利擁護を推進するため、障害者虐待防止法についても研鑽を深める意向をもっている。
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	療育においては技術だけではなく、子どもたちを温かく迎え入れる姿勢を重視しており、職員の指導に努めている。利用者の成長にとって大変大事な時期に接していることを念頭に置きながら、療育の質の向上や業務の改善に臨んでいる。
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	職員の休業、職務の増大等に際しては、代替職員の採用・異動など対応に努めている。あるものを最大限利用し、費用・資源の削減にも努めている。

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	法人内の人材育成部会において人材育成方針を策定しており、専門性の向上を主眼として職員の育成に努めている。園内職員の年齢構成についても考慮しており、責任と職務の重さを認識できる職員の醸成に取り組んでいる。
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a	「目標管理シート」、「自己申告書」を用い、評価と管理がなされており、職員のモチベーションの向上に繋げている。他の施設での業務経験をはじめ、子育ての経験など職員個々の特性を鑑みながら意識の向上を図っている。
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	時間外労働・有給休暇の取得等就業状況が管理・把握されている。就業状況の違いについても認識しており、有給休暇の取得等改善を図る意向をもっている。
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		

Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	職員との面談を通して職員の資質向上とモチベーションアップに努めている。職員間の連携がうまくいくよう調整を図り、働きやすい環境づくりに取り組んでいる。基礎知識を習得し、サービスの基本を学ぶ研修も計画されている。
Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	職員の職務階層に応じた能力等基準表が作成されており、階層別・専門分野別に網羅された法人内研修の計画・参加がなされている。
Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	職員の過去の研修受講歴を記録した研修管理カードが作成・保管されており、経験等を考慮し、年度ごとに職員一人ひとりの研修計画が策定されている。希望や進むべき方向性を配慮し、外部研修の参加を決定している。
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	実習生に対してはオリエンテーションを実施し、心得の説明等がなされている。園としても指導を通じて気づきをもらう機会として積極的な活用に努めている。

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	運営法人のホームページには、決算報告をはじめ財産目録・監事報告書等が明示されている。その他事業紹介・活動記録等事業の全貌を把握するための資料があますことなく公開されている。
Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	経理規程・施行細則・事務決裁規程等の整備がなされており、適切な運営にあたっている。指定管理者として行政への定期での報告もなされている。

Ⅱ－４ 地域との交流、地域貢献

	第三者評価結果	コメント
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
Ⅱ－４－（１）－① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	近隣の法人内の施設と連携し、行事の開催がなされている。自治会との結びつきを強くするなど地域との交流・地域への貢献を今後の課題と位置付けている。
Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	クリスマス会や運動会など行事開催にあたっては、協力を得ながら進めている。外部の協力を得ることと安全・安心な利用とのバランスを考慮しながら推進していく意向をもっている。
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
Ⅱ－４－（２）－① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	大きな公園、商業施設、図書館など多岐に渡る社会資源がある恵まれた環境に位置している。また保健センター等関係機関とも連携を図りながら利用者の支援に取り組んでいる。
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
Ⅱ－４－（３）－① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	b	職員配置、使用目的等の関係上、ハードの貸し出し等は難しいものの、有する知識や経験による貢献が可能であることを認識している。相談会の開催や講師派遣などできる活動により地域に資する意向を持っている。

<p>Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく公益的な事業・活動が行われている。</p>	<p>b</p>	<p>法人からの情報提供や法人内他施設との連携により地域の福祉ニーズを把握している。法人の活動と歩調を合わせながら市民・地域への貢献を検討している。</p>
--	----------	--

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果	コメント
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	倫理綱領の読み合わせなど福祉従事者としての規範と法人職員としての責務を確認している。虐待防止チェックリストの実施など継続した取組みがなされている。
Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	常に子どもたちの意思を確認・尊重した支援に取り組んでおり、細かな事項に至るまで配慮がなされている。原理原則について保護者にも周知を図り、意向の確認をしながら進める方針を持っている。
Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	利用前に必ず見学に来てもらい、縦割りのクラス編成等施設の特性についても理解してもらえよう取り組んでいる。施設公開日を設けるなど情報の発信に努めている。
Ⅲ－１－（２）－② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a	重要事項説明書・契約書により事業所の概要・サービスの内容を明示している。また併せて個人情報についても同意書をとるなど確認がなされている。提示書類については毎年度見直しをし、より理解が深まるよう取り組んでいる。
Ⅲ－１－（２）－③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a	サービスの変更や就学にあたっては、相談支援と連携しながらスムーズな移行となるよう努めている。必要な情報を提供し、子ども・保護者にとって最適な環境となるよう取り組んでいる。
Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。		
Ⅲ－１－（３）－① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	利用者へのアンケートは、法人により定期で行われており、事業所独自としても行事後に実施している。調査結果については玄関に掲示し、周知を図っている。
Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	苦情相談窓口、法人窓口、苦情解決第三者委員が設置されており、苦情相談体制が整備されている。また上記は、行政相談窓口とあわせて、重要事項説明書に記載し、周知を図っている。
Ⅲ－１－（４）－② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a	意見箱を玄関に設置しており、誰もが意見を言える環境を整えている。懇談会を開催し、参加者一人ずつ意見をもらうなど運営の参考となるよう努めている。
Ⅲ－１－（４）－③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	相談室を三室設置するなど、プライバシーに配慮した相談受付を可能としている。利用者からの相談や意見については職員会議で検討し、改善を図るよう努めている。
Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	事故・ヒヤリハット報告書が整備されており、子どもたちがのびのびと過ごせるよう環境の整備に取り組んでいる。クッションや手作りの階段柵の設置など工夫をしながら安全対策に取り組んでいる。

<p>Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>感染症については、掲示物での周知・玩具の消毒等の対応に取り組んでいる。今年度も園内の看護師の指導のもと感染症の拡大防止について研修が予定されている。</p>
<p>Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a</p>	<p>定期での避難訓練の実施のほか、近年は、不審者対応等にも注力している。マニュアルの実践に対する具体的確認、不審者対応講習の警察署への依頼、水害対策の検討などを進める意向もっている。</p>

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

<p>Ⅲ－２－（１） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。</p>		
<p>Ⅲ－２－（１）－① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。</p>	<p>a</p>	<p>法人によるマニュアル・規程が整備されている。また施設独自のサービス支援マニュアルが設定されている。具体的業務の留意事項をはじめ、利用者を尊重したサービス提供が記されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。</p>	<p>a</p>	<p>サービス支援マニュアルは読み合わせをするなど浸透を図っている。成人施設等から異動した職員の意見を取り入れるなど視点を変えながら改訂している。</p>
<p>Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>a</p>	<p>家庭からの情報収集、日々の支援経過の考察、職員会議での検討を経て個別支援計画が策定されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（２）－③ 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>年度の中期に見直しを図っており、評価をもって支援への反映に取り組んでいる。目標については一人ひとりの発達・発育を考慮し、適切な設定となるよう検討や修正を図っている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p>		
<p>Ⅲ－２－（３）－① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。</p>	<p>a</p>	<p>利用者の日々の記録は個別支援計画の目標に対する実施や達成を重視している。また変化や体調についても特記事項として記されている。</p>
<p>Ⅲ－２－（３）－② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p>	<p>a</p>	<p>記録様式は法人内にて統一されており、実務担当者会議等にて検討・改訂されている。利用者の記録は、施錠できるキャビネットによる保管・ファイリングシステムによる整理がなされている。</p>

評価対象Ⅳ 適切な処遇の確保

Ⅳ－１ サービスの実施

	第三者評価結果	コメント
<p>Ⅳ－１－（１） 個別支援計画または個別療育計画に基づいた適切な支援について。</p>		
<p>Ⅳ－１－（１）－① 個別支援計画または個別療育計画を適切に作成している。</p>	<p>a</p>	<p>法人にて個別支援計画の策定・記載方法が定められており、適切な運用が図られている。また利用頻度やグループにより設定を変えている。職員会議では、利用者一人ひとりをじっくりと考え、適したサービスとなるよう取り組んでいる。</p>
<p>Ⅳ－１－（１）－② 個別支援計画または個別療育計画に基づいて、適切にサービスが提供されている。</p>	<p>a</p>	<p>利用者一人ひとりの記録は、個別支援計画の目標に対して実施の可否・達成度を記載する書式となっており、個別支援計画を念頭に置いたサービス提供となることが意識されている。できていないことばかりに着目することなく、できることをより楽しめるように保護者と話し合いながらサービス提供を進めている。</p>

<p>IV-1-(2)-① 食事に関しては、おいしく楽しく食べられるよう工夫されている。</p>	<p>a</p>	<p>調理委託業者と栄養士を含めた給食会議が年に2回開催されており、栄養バランス・利用者の嗜好を考慮した食事提供にあたっている。アレルギー代替食の提供については今後の課題として継続して検討していく意向をもっている。</p>
<p>IV-1-(2)-② 入浴に関しては、利用者の希望や事情を反映した支援を行っている。</p>	<p>d</p>	<p>該当なし</p>
<p>IV-1-(2)-③ 排泄に関しては、利用者の状態に合わせた支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>家庭との連携を密にし、トイレトレーニング等を進めている。「母子登園」時には、家庭での様子を聴取し、保護者の意向に沿いながら協調した支援に努めている。</p>
<p>IV-1-(2)-④ 整容その他に関しては、利用者の状態に合わせた支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>3歳児から歯磨きを指導しており、仕上げ磨き等の支援がなされている。歯科検診の実施、フッ素塗布などもなされている。</p>
<p>IV-1-(2)-⑤ 利用者の健康を維持するための支援を行っている。</p>	<p>a</p>	<p>看護師を中心に日々の健康管理に努めている。特に午前中は体を使う活動を行うようにしており、外出やリズム遊びを中心に子どもたちの成長と発達を支援している。</p>
<p>IV-1-(3) 利用者の自主性と家族との交流について。</p>		
<p>IV-1-(3)-① 利用者の自主性を尊重し、主体的に施設での生活が送れるような取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>保護者の要望を取り入れながら遊びや活動の設定に取り組んでいる。大小の部屋を有する恵まれた環境を活かし、職員が工夫を凝らした活動がなされている。</p>
<p>IV-1-(3)-② 金銭管理その他利用者の財産を管理するための支援を行っている。</p>	<p>d</p>	<p>該当なし</p>
<p>IV-1-(3)-③ 利用者の自立（自律）に向けた取り組みを行っている。</p>	<p>a</p>	<p>安全を確保した上で、失敗を含め、何でも経験できるよう活動が見守られている。幼児期の支援が大切であることを鑑み、将来のことを考えた支援方針がとられている。</p>
<p>IV-1-(3)-④ 利用者の就労を支援するための取り組みを行っている。</p>	<p>d</p>	<p>該当なし</p>
<p>IV-1-(3)-⑤ 施設と家族との交流・連携を図っている。</p>	<p>a</p>	<p>連絡帳の書き方については、保護者の要望を取り入れ、日々の活動やサービスを理解してもらえるよう取り組んでいる。母子登園についても保護者の予定を最大限考慮しながら日程調整するなど配慮に努めている。</p>